

大日機工株式会社

2024 年度 環境経営レポート

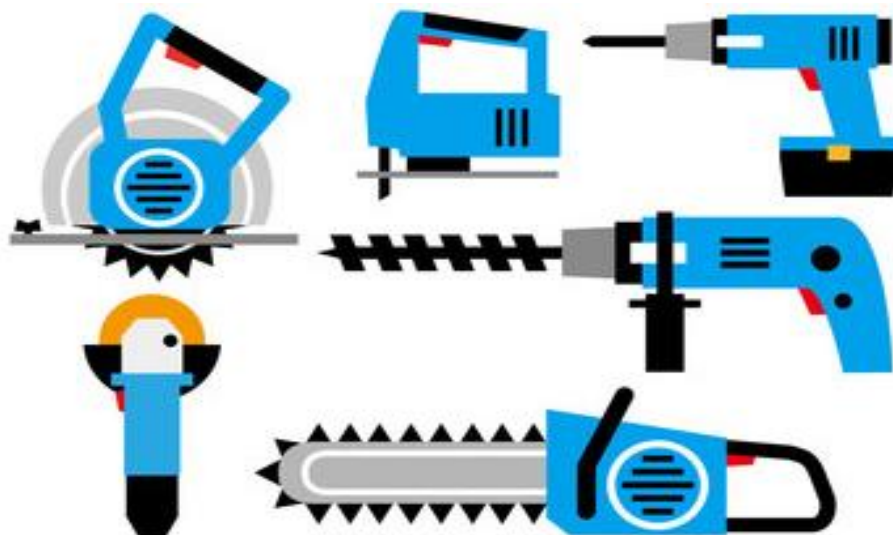
(対象期間 2024 年1月1日～ 2024 年12月31日)



作成日： 2025年2月27日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6
緊急事態対応訓練	9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	10
各営業所の取組	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11



□ごあいさつ

当社はエコアクション21の認証登録より、約17年が経過しました。

当社は毎年、経営方針の中に環境経営に取り組む方針を入れ込み、年初めに各営業所に周知徹底をするように指示しています。

環境経営活動の重点を電力の削減、自動車燃料の削減、一般廃棄物の削減、コピー用紙使用量の削減、水道水の削減、工事における環境配慮、エコ商品の販売に置き、各営業所毎に計画を立て、半年毎に実施状況をチェックして参りました。ここに2024年度の締め環境経営レポートを取りまとめました。全営業所を挙げての環境活動も定着して来ましたが、今後も更なる改善に取り組んで行く所存であります。

代表取締役 諸泉 雅司

環境経営方針

<環境経営理念>

当社は温暖化などの地球環境問題とゴミ処理など地域の環境問題に積極的にとりくむことが、経営の基本であると認識しています。今後は全社一丸となって環境との共生・調和に配慮した事業活動を継続的に取り組みます。また、お客様にエコ商品を提案し、お客様自身もエコ化を推進できるよう努めます。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 二酸化炭素排出量削減に取り組めます。
- 2 . 再使用や再生利用を進め、廃棄物の削減に取り組めます。
- 3 . 節水に努め、総排水量の削減に取り組めます。
- 4 . エコ製品の取扱とその販売強化に努めます。
- 5 . 工事における環境配慮に努めます。
- 6 . 設備・備品のグリーン調達に努めます。
- 7 . 環境関連法規等を遵守します。

制定日： 2006年12月25日

改定日： 2025年2月27日

代表取締役 諸泉 雅司

□組織の概要

更新日：2025年2月27日

(1) 名称及び代表者名

大日機工株式会社
代表取締役 諸泉 雅司

(2) 所在地

本社（大阪営業所） 大阪府守口市佐太中町3丁目15-12
滋賀営業所 滋賀県野洲市久野部199-1
仙台営業所 宮城県名取市手倉田字八幡628ウィズハイム102
篠山営業所 兵庫県篠山市網掛337-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 大阪営業所長 皆川 幸二 TEL：06-6901-3441
担当者 篠山営業所長 諸泉 匠

(4) 事業内容

機械工具類の専門商社

(5) 事業の規模

売上高 732 百万円

	本社（大阪営業所）	滋賀営業所	仙台営業所	篠山営業所	合計
従業員 名	9 名	3 名	4 名	4 名	20名
延べ床面積 m ²	500 m ²	53 m ²	55 m ²	50 m ²	658m ²

(6) 事業年度

1月1日～12月31日

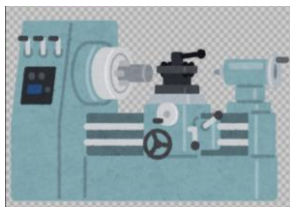
□認証・登録の対象組織・活動

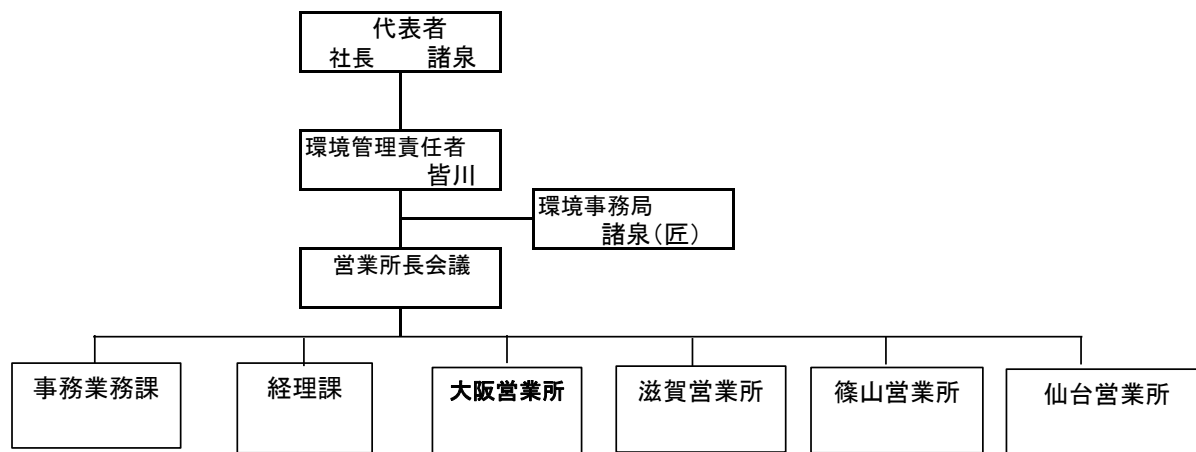
登録組織名： 大日機工株式会社
対象事業所： 本社（大阪営業所）
滋賀営業所
仙台営業所
篠山営業所

活動： 機械工具類の専門商社

□取扱い製品（商品）の紹介

- ・ 工作機械
CNC旋盤 マシニングセンター CAD/CAM・EDM NCフライス NC研削盤 汎用工作機械
プラズマ加工機 レーザー加工機 鍛圧機械 鉄骨加工機械
- ・ 切削工具/測定工具/工場消耗品
切削・研削工具及び工作機械周辺機器 測定機器 電動工具 エアー工具 環境機器
作業工具 ケミカル商品 配管工具 その他各種消耗品
- ・ 産業設備機械
マテハン機器 メカトロニクス機器 保管機器 小型工作機器 溶接・溶断機器
油・空圧機器 省力機器全般 昇降運搬機器 コンプレッサ ホイスト
- ・ 環境関連商品
- ・ 伝導機器
- ・ 空調機器
- ・ 季節関連商品





	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、営業所長会議の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
営業所長会議	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
所長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	60,666	65,906	55,996
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	626	610	562
産業廃棄物排出量	トン	0	0	0
総排水量	m ³	149	140	122

※二酸化炭素排出係数 0.334 kg-CO2/kWh 電力会社の調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

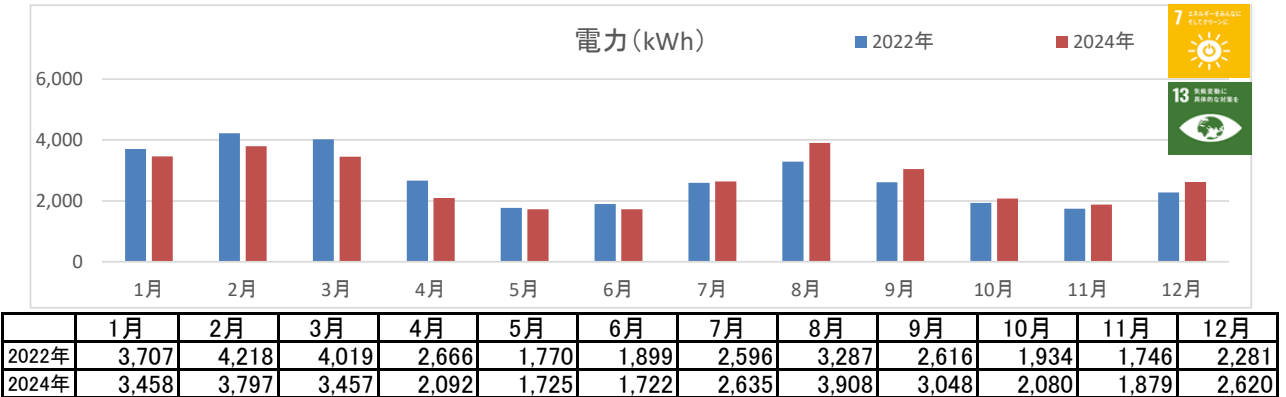
年 度		基準値	2024年		評価	2025年	2026年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力の削減	kg-CO2	10,935	10,825	10,829	×	10,716	10,607
	基準年度比	2022年	99%	99%		98%	97%
自動車燃料の削減	kg-CO2	46,982	46,512	45,167	○	46,042	45,572
	基準年度比	2022年	99%	96%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	57,916	57,337	55,996	56,758	56,179
一般廃棄物の削減	kg	626	620	562	○	613	607
	基準年度比	2022年	99%	90%		98%	97%
水道水の削減	m ³	149	148	122	○	146	145
	基準年度比	2022年	99%	82%		98%	97%
工事における環境配慮	行動目標(次項による)						
エコ事務用品・備品の購入	行動目標(次項による)						
エコ(省エネ分野)商品の取り扱い強化	万円	5,760	6,048	7,257	○	6,106	6,163
	基準年度比	2022年	105%	126%		106%	107%

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

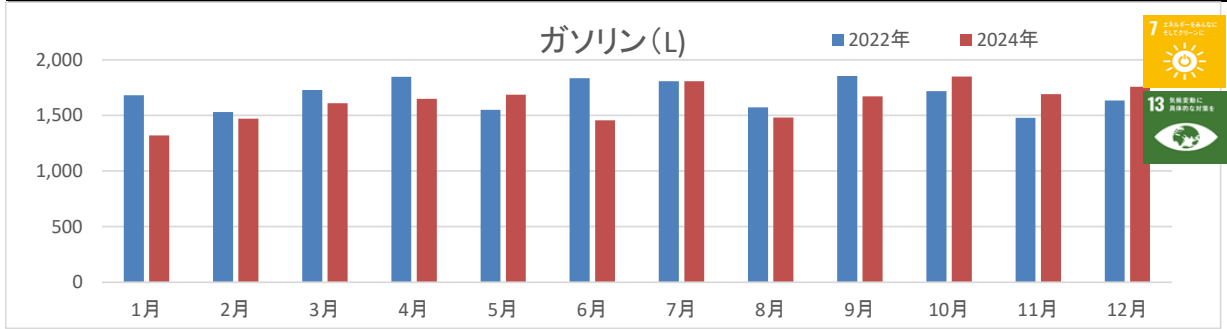
数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	年間目標未達。この夏は非常に暑かった事もあり、夏場の電力消費が大きく全営業所で目標達成未達。次年度は夏場&冬場のエアコン使用量に気をつけるのとエアコンのフィルターを小まめに清掃し節電を心掛ける。
空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
事務所のOA機器の節電	○	
パソコンの節電モード	○	
省エネ証明設備及び省エネ空調の更新	△	

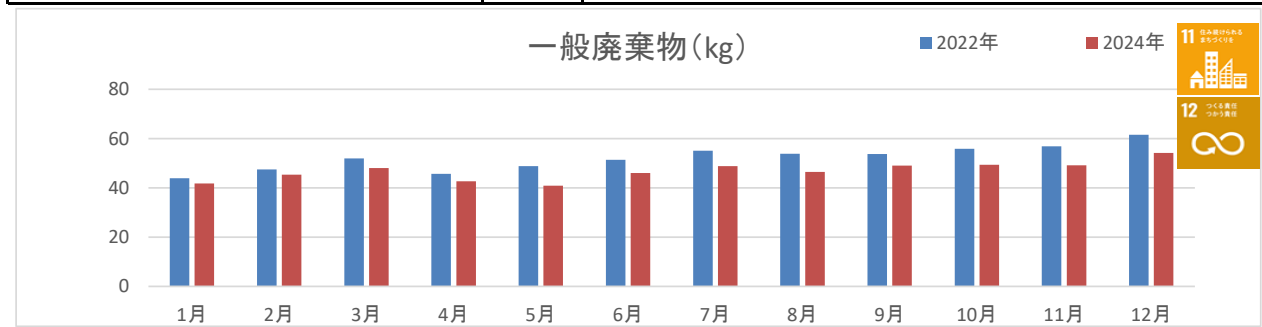


自動車燃料の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	年間目標達成。個別で見ると、篠山営業所のみが目標達成未達。次年度は効率の良い訪問や無駄な運転をしないようにエコ運転を心掛けて行く。大阪営業所、滋賀営業所、仙台営業所は次年度も引き続き達成できるようにエコ運転に心掛ける。
効率的なルートで配送	△	
エリア別営業活動の見直し	△	
アイドリングストップ	△	
急加速・急停車の防止	○	



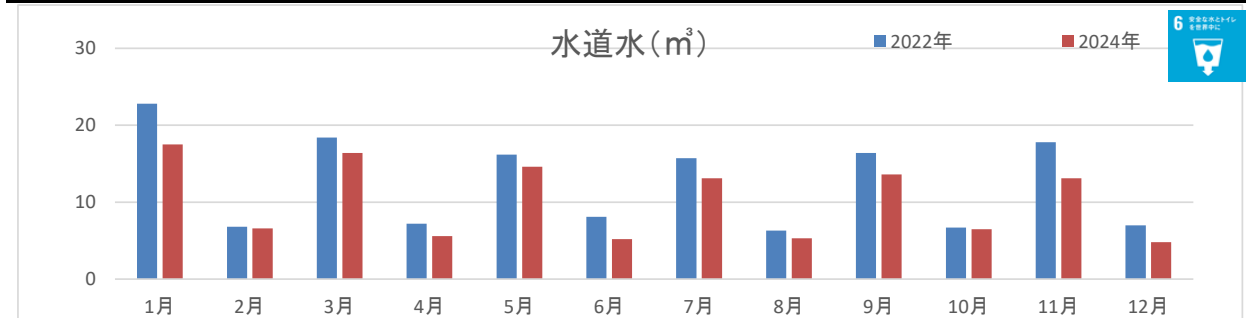
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	1,681	1,530	1,728	1,848	1,550	1,835	1,809	1,572	1,854	1,718	1,478	1,634
2024年	1,321	1,472	1,610	1,649	1,688	1,456	1,807	1,482	1,671	1,850	1,691	1,758

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	年間目標達成。次年度も全ての営業所が目標達成できるように日頃から資源ゴミの再利用を考えて考動して行く。
梱包紙のリサイクル推進	○	
資源ゴミの分別	○	
梱包材の再利用	○	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	44	48	52	46	49	51	55	54	54	56	57	62
2024年	42	45	48	43	41	46	49	47	49	49	49	54

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	年間目標達成。全営業所目標達成。次年度も全営業所で目標達成できるように引き続き節水を心掛けて行く。
洗車時の節水	○	
手洗い時の節水	○	
トイレ用水の節約	○	
事務所・炊事場に掲示をする	○	



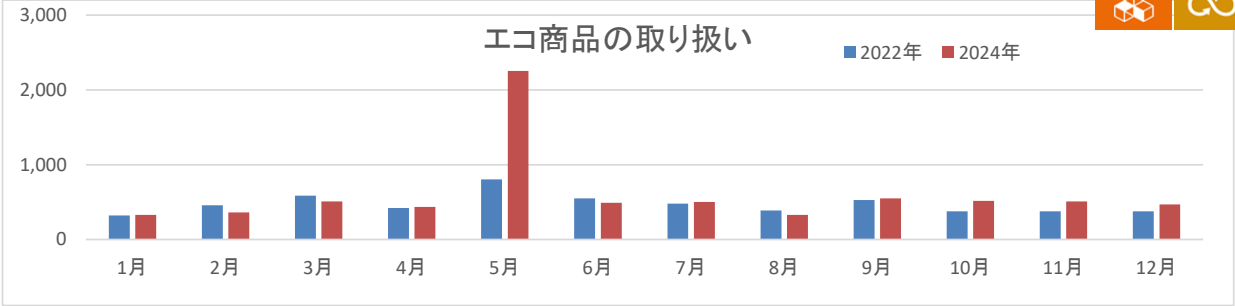
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	23	7	18	7	16	8	16	6	16	7	18	7
2024年	18	7	16	6	15	5	13	5	14	7	13	5

工事における環境配慮	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・工事の効率化	△	CO2排出のより少ない機器を選定して採用してもらうように工事業者に促していく。
・作業ミスの防止	△	
・顧客クレーム削減	△	
・廃棄物の再資源化の推進（別項目で実施）	△	
・顧客クレーム削減	△	

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
対象：事務用品（再生紙・エコ照明器具）	△	グリーン購入の実績値が把握できず、今後の数字目標値設定はできなかった。次年度はエコ商品同様にグリーン購入の実績値を把握し、グリーン購入数値目標値設定に繋げて行きたい。
車両関係（本体・エコタイヤ）	△	



エコ(省エネ分野)商品の取り扱い強化	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	年間目標達成。大阪営業所で大きな設備の物件があったので、全体的には達成だが、篠山営業所、仙台営業所は目標未達だったので、次年度は全営業所で達成できるよう頑張るエコ商品の販売に力を入れて売上UPできるようにする。
特定のエコ商品を決め、一定期間での販売取組みを報告する。	○	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2022年	322	458	588	419	803	549	479	388	527	377	377	376
2024年	330	363	508	437	2,255	490	501	328	551	518	508	468

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：火災の発生

<大阪営業所>	
■実施場所： 大阪営業所1階倉庫	
■実施日： 2024年12月26日	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練	
■評価：手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし 1階倉庫から出火した想定で訓練を行った。昨年同様に避難通路の確認と消火器の設置場所の再確認を改めて行い、災害に対処できるよう柔軟な訓練が出来た。	
■実施の様子：	
	

<滋賀営業所>	
■実施場所： 滋賀営業所事務所	
■実施日： 2024年12月26日	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練	
■評価：手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし 地震によるヒターから小火の想定で実施しました。ヘルメット、マスク、消火器、等の設置場所の再構築も検討しました。	
■実施の様子：	
	

<篠山営業所>	
■実施場所： 篠山営業所事務所	
■実施日： 2024年12月13日	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練	
■評価：手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし 消防のプロへ火災の話を聞かせていただく。	
■実施の様子：	
	

<仙台営業所>	
■実施場所： 仙台営業所事務所	
■実施日： 2024年12月16日	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練	
■評価：手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし 新しい方1名加わった事で改めて全員で消火器の設置場所・使用方法、避難経路の確認を行った。	
■実施の様子：	
	

□各営業所の取組

＜大阪営業所＞

エコ商品(コンプレッサ)に関する説明会を当社で実施。省エネに関する説明を受け、より多くのエコ商品を拡販するように努めている。



＜滋賀営業所＞

大宝工業様のリサイクルの製造装置の見学をさせて頂きました。



＜篠山営業所＞

業務のみの時はエアコンを止めセラミックヒータに切替



＜仙台営業所＞

プラダンを利用して2重窓を作る事により冷暖房効率が向上し省エネ節電に努めた



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物
フロン排出抑制法	業務用空調機
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

特に無し

1.環境目標及び環境方針の評価

(1)二酸化炭素排出量削減の評価

2024年排出量は前年に比べ15.0%減少し、目標達成率は102.3%で、年間目標値は達成。
夏の気温が過去最高を記録し、夏場のエアコン使用が多かった事もあり、電力使用量が多かった。
電力使用量は前年に比べ16.4%減少し、目標達成率は99.9%で、年間目標値未達。ガソリン使用量は前年に比べ14.7%減少し、目標達成率は102.9%で、年間目標値は達成。
次年度は電力使用量の減少を心掛け、二酸化炭素排出量削減にさらなるチャレンジをする。

(2)廃棄物削減の評価

2024年廃棄物排出量は前年に比べ7.8%減少し、目標達成率は109.3%となり、年間目標値を達成。
次年度も継続してメールの有効活用・コピー用紙の裏面も必ず使用し、FAXIにおいてはパソコンから直接送るようにして、再利用活動も推進して行く。
事業所内分別の再徹底を実施し、リサイクル事業者へ引取りを促進する。

(3)総排水量(水使用量)削減の評価

2024年は前年に比べ12.8%減少し、目標達成率117.5%で、年間目標値を達成。今後も節水活動を継続して行く。

(4)エコ製品普及の評価

2024年は前年に比べ39.4%増加し、目標達成率は119.9%で、年間目標値達成。
大きな物件ものがあつたおかげもあり、今期は達成できたが、引き続きエコ関連商品を販売して売上アップにも貢献して行く。

(5)工事における環境配慮の評価

工事現場に行く際にはみんなで乗合を実施し、車輛の乗り入れを減らし、少しでもCO2削減に貢献できるようにして行く。

(6)法令遵守の評価

省エネ意識の高揚や省エネ法改正等により、省エネに関する知識は、機械工具卸業界においても、自社のみならず顧客へのアプローチ・販売に重要な知識となっている。さまざまな機会を通じて、社員への講習を充実させ、一層の知識取得に努めて行く。

(7)グリーン購入

2024年もグリーン購入の実績値が把握できず、今後の数字目標設定はできなかった。2025年はグリーン購入の実績値を把握し、グリーン購入数値目標設定に繋げて行く。

2.全体総合評価

2024年は全項目で前年より減少した。しかし目標値には電力のみが未達だった。毎年夏場の気温が上昇してきており、職場環境を良くする為にエアコンの使用頻度が多くなり使用量が増加した。
エコ商品の販売に関しては徐々に増えつつあり、大きな物件ものを取る事で売上もアップするので次年度も販売強化して行く。
全社的には常に環境負荷を監視・チェックして、6ヶ月に1度全体営業会議にて、環境負荷増加原因の分析を行いできるだけ早くその結果を周知させる事が大切である。
2025年もズームを利用したの全社営業会議を実施し、その分析に基づく対応策を営業所毎に考え、実施して行く事が重要である。
引き続き、全社員のエコ意識を周知徹底させ、2025年も2016年から実施したエコ商品の取り扱い強化を更に強化するとともに大きな工事物件を取り、更なる売上UPとCO2削減に力を入れ、エコアクション21の環境負荷削減活動を活性化し、チャレンジして行きたいと考える。

環境経営方針

環境経営目標・計画

実施体制他

☒ 変更なし

☐ 変更なし

☒ 変更なし

☐ 変更あり

☒ 変更あり 実績を踏まえて見直すこと

☐ 変更あり